

東京大学訪問研修を実施しました

8月28日（火）に、東大訪問研修を行いました。これは、1・2年生の希望者が東京大学へ行き、キャンパスを見学しながら東大の先生や学生の話聞く夏の恒例行事です。毎年大変好評で、9回目となる今年は、35名の生徒が参加しました。

今夏は記録的な猛暑が続き、研修当日も猛暑日となる予報でしたが、前日に降ったゲリラ豪雨のおかげで、比較的涼しい中で研修を行うことができました。名古屋駅を8時過ぎに出発し、東京大学駒場キャンパスには10時30分頃到着。ここで東大の大学紹介サークルの学生、本校卒業生の皆さんと合流し、建物内へ移動しました。

企画していただいたワークショップでは、まず初めに東大生から、東大を目指したきっかけや東大の魅力など、自身の体験を踏まえたプレゼンをしていただきました。その後、グループに分れて学習等についてのアドバイスをいただきました。プリントを用いて普段の生活・学習習慣を見直すとともに、部活との両立の仕方や学部学科の選択の方法、進路設計の仕方や高校生のうちにやっておいた方がよいことなど、具体的な話を聞くことができ、とても充実した研修になっていました。

昼食休憩で建物の外に出てみると、夏休み中にもかかわらず、研究やサークル活動の大学生で最寄りの学食は大変混雑しており、賑やかで活気を感じました。キャンパス内を案内していただきながら、全員で少し離れた学食へ移動しました。値段が安く、カフェテリア形式の食堂で昼食を取ることは、高校生にとって新鮮に感じられたようです。

研修後半は東京大学生産技術研究所に場所を移し、土屋健介准教授の研究室を訪問しました。土屋研究室では「小さな世界」に照準を合わせ、微細加工技術や微細組立技術の研究を行っています。はじめに土屋先生から科学についてレクチャーをしていただき、その後実験室へ行き実際に機材を操作させていただきました。興味をもった生徒も多く、中にはこの研究室見学をきっかけとして東大を目指すと言ってくれた心強い参加者もいました。

今年も盛りだくさんの日程で、参加生徒は、雲の上のように感じていた東京大学について、より具体的にイメージをもつことができたようです。これを機に、より一層日々の勉学に励んでほしいと思います。最後になりましたが、今回の訪問研修を快く受け入れてくださいました、東大生産技術研究所の土屋健介准教授、東大学生サークル Fair Wind はじめ多くの皆様方に、この場を借りて深く御礼申し上げます。



東大生からお話を聞きました



東大生といろいろなお話をしました



さすが東大生と思わせるお話でした



東大の先生の特別講義を受講しました



いろいろな機材を見学しました



いろいろと学ばせていただきました